

大久保地区の公共施設再生説明会(第1回)で頂いた意見に対する回答

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
1	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館の閉鎖に反対です。大久保までは遠くて、子供一人で行かせることはできませんし、高齢者も行くことができなくなります。もし、残すことができないのであれば、移動図書館のステーションを増やすなり、津田沼駅周辺又はふれあいセンターで予約した本の受け取りや返却をできるようにして欲しいです。	集約化は、限られた財源の中で、経費の削減を進めながら大久保図書館を本市の中央図書館にふさわしい機能を有する図書館とするための手段として必要であると考えています。 しかし、藤崎図書館を利用している方の利便性を確保する必要があることから、移動図書館の巡回や袖ヶ浦団地内にNPO団体が開設しているような民間の図書館を誘致するなど、身近な場所で図書館サービスが受けられるように検討を進めていきたいと考えています。 また、中央公園を中心とし、半径1キロメートル圏内の公共施設を集約することは、施設利用可能圏域という考え方であり、小学校区内で集約化しなければいけないとは考えておりません。 藤崎図書館は、集約後、藤崎地区の皆様から要望の多い、地域の方が集まって会議のできるような地域の拠点施設として活用することを検討いたします。
2	集約反対	藤崎図書館	大久保駅から1km以内を集約させるというアイデアはわかりますが、少し無理やりではないかと思います。例えば藤崎図書館は小さいですが、近隣の子供(保育所など)が歩いて行ける唯一の図書館です。中央公園までは遠すぎて行けません。習志野市の端っこだからと言って、教育の機会を奪うのは、未来への重大な損失となります。他の市町村は、小学校に併設(図書室などとして)する所もあるようです。あるいは移動図書館などで定期的にくまなく市内を回るなど、配慮をお願いしたいと思います。	
3	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館を利用しています。大久保地区になると遠くなります。予約などはインターネットでできるのですが、予約本の受け渡しだけでもできないでしょうか。時間限定でも良いと思います。本を見たいときは大久保地区に行きます。	
4	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館をよく利用しています。雨の日でも小学生が安心して行くことができる距離です。大久保図書館に集約されてしまうと、遠くなるうえ、踏切を越えて行くことが不安です。雨の日は行かせられません。結果、本に親しむ機会がなくなると思います。例えばワンフロアにして児童書と予約本の受け取りに限定するなど小規模になったとしても、今の場所に存続して欲しいと強く願います。	
5	集約反対	藤崎図書館	自分の住居が市境(藤崎3丁目)のため、藤崎図書館を利用しています。大久保になってしまうと徒歩で倍の時間がかかってしまい、不便になるので、藤崎図書館はこのままの場所に残してほしいと思います。	
6	集約反対	藤崎図書館	近くに図書館がなく、今一番近い藤崎図書館でも徒歩15～20分かかる。集約後の場所だと、プラス15分程かかりそうなので、通いづらくなり困ります。	
7	集約反対	藤崎図書館	再編に反対します。子供は2週間毎に図書館に通っていますが、再編後では通うことができません。	
8	集約反対	藤崎図書館	他の施設はわかりませんが、藤崎図書館は無くさないで下さい。藤崎小の子供が、大久保まで行くのは大変です。	
9	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館は小学校からも近いし、本の返却もできたけど、大久保に行ってしまうと、踏切があつて危ないし、借りたり返したりするのにも、藤崎小からは遠いから、そのままにしてほしい。	
10	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館の集約に反対します。藤崎地区の子供たちの本を読む(ふれあう)頻度が、遠くなるとどうして低くなってしまいます。特に藤崎1～3丁目の子供たちは今でも歩いて20分以上かかるのに、さらに遠くなると行けなくなってしまいます。経費削減も大事ではありますが、習志野市民に均等にサービス提供するこも忘れないで欲しいです。	
11	集約反対	藤崎図書館	今の時代、子供や高齢者の多い時期です。近いのが良くて本を借りているのに、遠くなるのは不便です。	
12	集約反対	藤崎図書館	いつも藤崎図書館を利用しています。職員さんがとても親切で、知識も深く、いつも助かってます。近隣に図書館がない為、図書館の存続をお願いします。	
13	集約反対	藤崎図書館	こんなプランが実現したら、もう習志野市に住みたくない！とまず思いました。老いた両親は、大久保駅の方まで行くのは大変なのでもう図書館が利用できないでしょう。個人一人一人の小さな楽しみに目をむけていただきたい。もっと文化を大切に作る進んだ市であってほしいと願っています。大反対!!	
14	集約反対	藤崎図書館	各施設は大久保駅から1km以内であっても、それ以上に離れた所に住んでいる住民もいます。高齢者が増える中、重たい本を持って歩いて行けなくなる人も出てくると思います。本をそろえた図書館でなくとも、少なくとも、要望した本の受取りと返却はこれまで通り、近くでできるようにしてほしい。	
15	集約反対	藤崎図書館	今日、本が読まれなくなっているところ、地区から図書館がなくなれば、更にこの傾向が強まります。社会教育施設として、むしろ今後はますます充実させるべきです。そうでなければ、ものを考える人が減り、社会的劣化を加速させることとなります。	
16	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館は老朽化していないにも関わらず廃止統合する根拠が乏しい。小学校学区は藤崎は大久保小学校は学区外にしているにも関わらず、今回は大久保の中に入れこむのは統一感が全くない。	

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
17	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館は老朽化まだしていないのでは？していないものはまだ存続させてもらいたいのだが…？？どうか？	回答は、前頁と同じ。
18	集約反対	藤崎図書館	今でも近くにあるからやっとな歩いて行っている年寄りはどうやって大久保まで行くのか。もっと年を取ったらますます利用不可能になる。消防署は老朽化しているのか？していないと思うが、その場合藤崎図書館は別扱いしてほしい。老朽化した他の施設の巻き添えになるのは理屈が通らないと思う。高齢化で福祉費用が掛かるというが、老人からささやかな読書の楽しみを奪うことは福祉に反している。そのために認知症が進めば逆効果ではないか。老人は現役時代ほとんど住居地を留守にして仕事に出精していた。その間、市からはほとんどサービスは受けず、市民税はきちんと支払って市民の義務を果たしていたのである。退役して、さて、サービスを受けるときになると、年寄りに係る金を惜しんで図書館すら奪う。酷政だ。藤崎図書館利用者	
19	集約反対	藤崎図書館	反対です。中央公園を中心に1キロ圏内という考え方も不自然で、各施設に対して私達は更に遠い所から集まっているのです。図書館すら各地域に設置できないというのは、文教都市というフレーズにあてはまらないのでは？子ども達の安全も確保できないので、通うことができません。藤崎に公共施設がなくなると何もないただの不便な町でしかありません。子どもの大切な空間です。	
20	集約反対	藤崎図書館	我々の様な身障者にとって身近な図書館の存在は本当に有難い存在でした。他の図書館へ通う為の交通手段はどうなるでしょうか？往復のタクシー代でも出して貰えるのでしょうか？それにしても築50年で建て替えの〇〇をお知らせ下さい。壊れている個所があるなら補修して、80年100年と続けて欲しいものです。	
21	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館は、何としても残して欲しいです。この4月から、藤崎図書館の職員数がグンと増えたような気がしますが、前のように2～3人の職員さんにして、親子の手遊び講座みたいな行事もなくていいので(こどもセンター等でやっているの)、藤崎図書館そのものは残して欲しいです。理由は、大久保図書館(新しくなれば改善されるのでしょうか)の幼児コーナーで、よく中年以上の男性が、口を押えず、たてつづけに咳をしなが、ずっと新聞等を読んでいるので、ゆっくり安心して、こどもの絵本を選ぶこともできないこと(本当によく咳をする大人が幼児コーナーに居座っています)。また、幼児コーナーで大人が勉強していることもあり、なるべく小さい声で、絵本を読み聞かせていても、睨まれることが多々あること。そのため、幼児の階がわかれている藤崎図書館を毎週利用し、もうすぐ3歳になる娘も、とても喜んで通っています。3歳前のこどもですら、「藤崎図書館なくなったら、困るなあ」と言っています。図書館が、近くにあることは、こどもの成長にとって、とても大切なことだと思います。私自身、電車に乗らないと図書館に行けない地域で育ち、図書館がもっと近くにあったらとの思いをずっと抱えていたので、藤崎図書館のきれいさ、幼児と大人の階がわかれていることにひかれ、藤崎の土地に家を購入しました。藤崎図書館では、大人の階も休日にはビッシリ利用者がいます。幼児の階も、色々な親子やこどもだけで、利用しています。あづまこども会館は、建物も古く、平日の午前中は利用者が殆どいない状況で、職員さんもただ話しているだけのようにはしか見えないので、市民プラザのキッズ大久保もあるので、廃止でいいと思いますが、藤崎図書館だけは何としても残して欲しいです。維持にかかわる経費をなるべく減らす努力をして、こども達の読書・自由研究の恰好の場となる図書館そのものの存在はなんとしても減らさず、残して欲しいです。習志野市・日本の未来の為に、今あるきれいな図書館を減らすなんて、負の影響しか考えられません。今から、署名活動をすれば、存続されることもあるのでしょうか？	藤崎図書館、東習志野図書館、新習志野図書館、谷津図書館の4図書館について、平成24年度から指定管理者制度を導入しております。民間活力を導入することにより運営経費の削減を図りながらサービスの質的向上を目指していることをご理解いただきたいと思います。集約後の大久保図書館については、利用者の皆様が不便に感じていることをできるだけ解消するような施設にしたいと考えております。大人と子供のスペースを区分することについても必要性を認識しております。
22	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館は残してほしいです。建物もきれいだし、子供のフロアと大人のフロアが分かれていて、子供に気兼ねなく絵本を読んであげられます。藤崎図書館の職員さんが急に増えた気がするの、必要最低限の職員数、手遊び講座等の行事はなくてもいいので(維持費削減)、図書館そのものは残して下さい。	
23	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館は、とても落ち着いていて勉強・読書ができる。お話し会など行事はやらないでいい。必要最小限の人数で運営し残して下さい。消防署の上の施設を空にしておくのはもったいない！受験勉強など、一生懸命やっている姿を見て下さい。将来の受験生のためにも、是非是非、残して下さい。とても静かで落ち着く場所です。よろしく願います。	

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
24	集約反対	藤崎図書館	地方行政は、住民のサービスを考えると点にしているのが好ましいと思います。このことは、次々に点在化していくコンビニの急成長を見れば明らかだと思います。これから、ますます高齢化が進む時代背景を考えると、コンビニのような点在化スタイルが望まれます。また、その利便さのゆえに、その地に家を購入した人たちもいることでしょう。このような観点から、公共施設の集約化には賛同いたしかねます。しかし、財政的に現状維持での建て替えが難しいのであれば、次のような方策をお願いしたいと思います。①予約図書の受け渡しをコンビニなどで行えるようにする。②返却図書は返却ボックスを点在化させて返却可能とする。③アットホーム習志野のような新しい複合公共施設の一部に図書館機能を移設する。これらにより、少しは経費節減に役立つのではないかとと思うのですが。やはり、いままある図書館がなくなるのは、個人的には困りますね。	施設を点在化させることにより、利便性が高まることは事実ですが、施設を維持する費用が増大し、市の財政状況を圧迫することとなることも事実であり、現在直面している大きな課題となっています。御提案の代替手段については集約化後の図書館サービスを検討する際に参考とさせていただきます。
25	集約反対	藤崎図書館	統合して大きくすると、その場所に大勢の人が集まり、いつ行っても雑誌などが他の人に読まれていて、自分の番が回って来ない。それに雰囲気に着き着きがなくなり、藤崎図書館のような良さが失われる。このまま残してほしい。	集約化後の大久保図書館は、複数の施設を集約化し、建物の更新に係る経費を削減しつつ閲覧席を増やす等、より落ち着いたきのある、長時間滞在可能な施設にしていまいます。
26	集約反対	藤崎図書館	藤崎図書館を愛用させていただいています。例えば1回10円(あくまで思いつきですが)とか有料にさせていただいても、地域の住民にとっては貴重な存在です。再編成の前に熟慮ください。市民の喜びを削るのを。	図書館の利用は図書館法により有料化はできません。藤崎図書館の集約化は、経費の削減を進めながら大久保図書館の規模を拡大する手段として必要であると考えています。
27	集約反対	藤崎図書館	習志野市は文教都市を自負している筈だ。施設の優先順位は図書館だ。中央公園への移設までに、現在の施設でのギリギリ迄の営業、又は仮設での営業を、第一義に考えて欲しい。今回の再編が経費増、税収減に依るものだとするなら、市長、議員、職員が身を切る姿勢をはっきりと見せて欲しい。それでなければ、市民特に高齢者は納得しない。船橋の市長選は、そこが争点になっている。習志野市も他人事ではない。前市長の時代から続く「ぬるま湯」体質に鉄槌が下されないよう祈るだけだ。スクラップアンドビルドは避けて通れないが、市民は市政全体を厳しく見ている事を忘れてもらっては困る。	文教住宅都市における図書館の重要性は認識しており、図書館をさらに充実するためにも集約化は必要であると考えています。市職員の給与削減については、平成23年7月から市長、副市長等特別職の給与削減を実施するとともに、管理職手当の削減も継続して行っております。
28	集約反対	藤崎図書館 あづまこども会館	大久保公民館、勤労会館、ゆうゆう館と一緒にしたら良いと思う。図書館、児童館の移動には不賛成です。子供達だけで図書館や児童館に行く事が多く、出来るだけ地域において頂きたいと思います。よろしくお願致します。	小学生の図書館利用については、移動図書館の巡回や民間の図書館を誘致するなど、身近な場所で本と触れ合うことができるよう検討して参ります。また、児童館の機能については、市内各公民館、市民プラザ大久保で子どもの居場所づくり事業を行っており、この制度を充実することで対応してまいります。
29	集約反対	距離が遠くなる	これから、更に、少子高齢化が進むことは避けられない。そのことを考えると、大久保地区でも高齢者人口が増加していくことが予想される。(現在、このようになっているかもしれない)1キロ圏という発想で、今回取り上げられている施設を集約化していくと、新しい施設から、最も離れた住民(高齢者)は、足が遠のき、家を出なくなるだろう。そのことによって、病気がちになり、より医療費の負担が増大すると思われる。やはり、高齢者が歩いていける距離に施設があることが望ましい。また、施設費の予想が、果たして適切なのか、再度精査する必要があるように思う。適正価格以上の見積もりを根拠に、考えがまとめられていくことはよくない。これは、直接大久保地区ということで、習志野市のお金の使い方も、きちんと精査する必要があることも併せて付け加えたい。奏の杜地区のように、一部の地域のために、巨額のお金が市税から投下され、そのつけ回しが広く市民に強いられる。このやり方も再考した上、再編計画は考えるべきである。それから、質問であるが、なぜ、この計画の推進者は、東洋大学関係者が多いのか。これには、きちんと答えてもらいたい。偏っているように思う。	徒歩で藤崎図書館から中央公園までは約13分、ゆうゆう館から中央公園までは約10分かかります。現在それぞれの施設を利用している方が追加でこの時間を費やしても行きたいと思える施設づくりを目指してまいります。東洋大学は、公共施設再生及び公共と民間の協働による課題解決に関する研究を先進的に行っている日本でも数少ない大学であることから、本計画に参加いただいています。東洋大学以外にも市内の千葉工業大学、日本大学、さらに県内の千葉大学等と同様の協力をいただいています。
30	集約反対	距離が遠くなる	家から近いからこそ利用しているので、集約していまうと移動距離があり、交通の利便性、駐車場の確保、サークルなども増えているため、部屋の確保の難しさもあると思います。雨の日などは、足を運ぶこともなくなると思います。なくなると困ります。地域の人の交流も減ると思います。	限りある財源の中で建て替えを行うには、施設の集約が必要であると考えています。少し遠くても通いたくなるような魅力がありバリアフリーにも配慮した施設づくりをしてまいります。道路の安全対策については、引き続き街灯の適切な維持や地域の皆様との協働による見回りにより対応してまいります。また、集約後の施設では、地域の方々への新たな雇用を創出できるような民間活力の導入も検討してまいります。
31	集約反対	距離が遠くなる	新しい施設ができることは嬉しいことだけど、今よりも遠くなると行きたくても行けないのは、悲しいこと。	
32	集約反対	距離が遠くなる	大久保地区の各施設を利用していますが、老朽化は著しいところ。再編にともない集約と建て替えるのかと思いますが、1カ所集約はどうかと思います。泉町に徒歩移動の人が大久保駅まで歩いてくるのは大変では？駐車場、駐輪場の確保など、中央公園1カ所で済むことなのか。2、3カ所と分散すべきなのか検討すべきと思います。	
33	集約反対	距離が遠くなる	近くにあるのでみなさん利用しているので、遠くなると利用しにくくなる。趣味を生かし、みんなが集う場がなくなるので困る。	
34	集約反対	距離が遠くなる	8つの施設を一カ所に統合するという計画は、あまりにも粗雑で無理があります。2～3カ所に分けての統合を強く希望します。	
35	集約反対	距離が遠くなる	市民に広く使用してもらう為には、各地域に会場を設置しておくことが大切。	
36	集約反対	距離が遠くなる	近くにあった方が便利なので、今のままで、内容を充実させて欲しい。	

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
37	集約反対	距離が遠くなる	市のおかれた状況はよく理解できますが、私ども高齢者にとっては、いささか施設が遠くなり過ぎるのが残念です。藤崎図書館利用者	回答は、前頁と同じ。
38	集約反対	距離が遠くなる	踏切を越えていくのは子供が危険だし、車の通りも多いので大久保に集約はやめてほしい。事故があっても責任とれないでしょ？何のために税金払ってるのかわかんない。市民のための施設くらい運営できなくてどうするんだろうか。だめな町習志野。船橋に住めばよかった。	
39	集約反対	距離が遠くなる	距離が長くなる人達が多くなるね。無償の市内循環バスの運行の検討が必要であると思います。	
40	集約反対	距離が遠くなる	近くて便利に利用していたが、今度遠くになり利用しにくくなる。高齢者を目のかたきにしない優しい政治を望む。税金の取り過ぎで地方公務員の給与が国家公務員より上はおかしい。	
41	集約反対	距離が遠くなる	新たな施設までの移動距離が長くなる。	
42	集約反対	距離が遠くなる	老朽化他、建て替え主旨は分かるも一極集中化は民意に逆行。日常の児童および高齢者の利用(福祉・教育図書館・集会場所サークル活動)への地域の人たちは今の場所にあって利用価値あり。移動時間(今までの2倍に)が長くなるほど、歩道の完備されていない生活道路及びバス通りは、交通事故や昨今の多発している不審者遭遇危険度が増す。大型箱物は設備費(耐震・防災安全面うんぬん)が掛かる。又、安全性から小回り(機能性)の効く建物の方が望まれる。財政難事情から…集約した方が建設コスト及び管理者人件費が掛からないという理由は工夫が足りない。	子どもの安心安全を最優先に、現在、学校の耐震化を進めています。大久保地区の再編は、老朽化の進む公共施設をいかに財政負担を軽減させて更新するかという課題を解決する一つの方法です。駐車場等についてはできる限り利用者の皆様の利便性を考慮して検討してまいります。
43	集約反対	距離が遠くなる	耐震上問題、財政上の問題としては理解できるが、高齢化する市民にとって集約施設を利用するには遠くなって、利用し難い。その対応策を具体的に提示して頂きたい。又、高齢者の身心の健康維持のための施策であって欲しい。健康寿命を保つための政策を提示して頂きたい。	
44	集約反対	距離が遠くなる	目的は安全、安心を除き全て形容詞で表現されており、具体的ではなく真意が組み取れない。今後、益々少子高齢化の中で利便性は無視(年寄りの行動半径)され財源のみで考えている感があり。生涯学習をスローガンにしている習志野市は形だけのもので良いのだろうか。もっと前向きな少子高齢化対策、雇用の創出等への方向性も積極的に取り組んで頂きたい。是非共	
45	集約反対	距離が遠くなる	施設が新しくなりバリアフリーやベビーを連れてでも利用しやすくなることなどが予想されますが、身近にあり、子供だけでも行かれる距離にあったものがなくなることに、やはり不便さを感じます。駐車台数完備の駐車場の設置や、コミュニティバス、あるいは無料バス(ポートピア用)には運行されているのですから、市民が使うものへの運行は考えていただいてもよいのではないのでしょうか)など、アンの利便さは必要と思います。しかしながら、なんとなく納得がいかないことは、市役所の建て直しもままならない、耐震に不安のある学校もある中、この再編案が進むことに違和感を覚えます。予算枠の関係であるならば予算ぐみから見直し、緊急性のあるところから取りかかっていただきたいです。	
46	集約反対	距離が遠くなる	大久保図書館を利用しています。古くて狭くはありますが、わが家から近いことが魅力です。建て替えるとバス道路からも奥まって「あし」が不便になります。高齢者、幼児同伴者に配慮したものであることを望みます。	
47	集約反対	距離が遠くなる	施設再編案の基本案には賛成です、但しあまり遠くの施設それも余り大きくないと思われる公民館(大久保公民館は別、ここは水漏れなどひどいと思う)藤崎図書館などまで合体するのは如何でしょうか。老朽の程度もあるのですが、巨大な施設が一概に良いとも思えません。当該住民でなく、センター施設しか利用してない住民ですが概要案を見ての感想です。	大久保駅から半径1キロメートルの施設を集約化するというのは、施設利用圏の考えに基づいています。複数の施設を集約することは経費削減を図りながら図書館規模の拡大をするために必要であると考えています。
48	集約反対	距離が遠くなる	集約しても通えるよう、ハッピーパスの路線変更、本数を増やす、又は自転車置き場の設置をしてもらいたい。	徒歩でも通える距離を想定して集約していますが、車や自転車で行く方にも配慮し、利用しやすい駐車場、駐輪場の計画について検討したいと考えています。
49	集約反対	距離が遠くなる	小学校1・2年生の子供達にとって、近くにあるから行ける施設だと思います。遠くなってしまうと、行けなくなります。その子供達のためには、分散されている方がいいと思います。中央公園は「そこなしぬま」と言われていた所です。費用の面では、どうなのでしょう。	土地改良の必要がない、既存施設を活用したリノベーションの手法も検討しています。藤崎図書館利用者の利便性を確保するため、移動図書館の巡回や袖ヶ浦団地内にNPO団体が開設しているような民間図書館の誘致等も検討してまいります。

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
50	集約反対	あづまこども会館	中央公園でしたら、自転車で行けるので、集約する案は問題ありません。しかし、小学生(低学年)たちが、歩いて遊びに行ける場所がなくなるのは、かわいそうです。	子どもが身近に遊べる場として、公民館や市民プラザ大久保で子どもの居場所づくりを行っています。ただし、毎日開設していないため、今後、サービスの拡大に努めてまいります。駐車場、駐輪場はできる限り確保するよう努めてまいります。
51	集約反対	あづまこども会館	集約も一つの案として良いとは思いますが、点在している良さもあると思います。特に子供が利用できる施設は、遠いと通うのが難しくなるかと思ひます。その場合、駐輪場及び駐車場は台数を確保してもらいたい。市民プラザなんか、駐車・駐輪場とも狭すぎる。新しく建てても不便ではしょうがないと思う。	
52	集約反対	あづまこども会館	このまま、今までであった所にあつたほうがよい。中央公園に集まってしまうと、子供たちが行くのに大変です。なるべくだったら、このままでよいと思ひます。	
53	集約反対	あづまこども会館	小学生の子供を持つ母です。あづまこども会館の存続・建て替えを希望します。小学生が雨の日に遊べる唯一の場所です。たくさんの子供が集まっていて、息子もよく遊びに行き、本をかりてくるなど、とても楽しく過ごせるようです。母としてはとても助かっています。小学生が遊べる公共施設・いわゆる「児童館」のようなものが習志野市は少なすぎると思ひます。唯一の習志野市の児童館、あづまこども会館をなくさないでください。	
54	集約反対	あづまこども会館	子供の遊ぶ施設(こども会館等)が線路をへだてた処にあると、安全面から遊びに行かせにくくなるので、線路の北側にもある程度、施設を残して欲しい。	
55	集約反対	あづまこども会館	あづまこども会館で子どものサークルをやっているの、なくさないでほしい。	
56	集約反対	あづまこども会館	あづまこども会館は地区の子供達のために残してもらいたい。	
57	集約反対	あづまこども会館	あづまこども会館、週1回利用しています。移転先では大半の子供が遠く、利用出来なくなると思ひます。利用出来てこそその施設ではないでしょうか？	
58	集約反対	あづまこども会館	①あづまこども会館は建て替えをして存続して欲しいです。あづままでの子ども向け諸活動(作品づくり、お楽しみ会など)は本当に子ども達が楽しみにしており、親としてもとても良い活動だと感じています。また、普段の遊び場としても活用させていただき本当にありがたい場所だと感じております。もし、大久保駅の近くに移転してしまつたら、家からの距離が長くなるので子どもだけの利用は難しくなり、今までのように気軽に遊べる場所ではなくなります。②図書館は集約し、もっと設備が整った施設にして欲しいです。古すぎる本も多いので、整理してさらなる内容の充実を！	
59	集約反対	あづまこども会館	”あづまこども会館”は、子どもがとても入りやすい会館なので、残して欲しいです。	
60	集約反対	あづまこども会館	あづまこども会館は残してほしい！！壊さなくてもいいのでは？	
61	集約反対	ゆうゆう館	ゆうゆう館を利用させて頂いてますが、地域に根ざした家族的な場所でありたいです。このまま利用させて頂きたいです。	本市の財政力で老朽化した施設をすべて同様に更新を行うことができないため、施設の集約しコスト削減を図ることを検討しています。身近な施設がなくなることになりますが、少し時間をかけても通いたくなるような集約施設にしていきたいと思います。
62	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	大久保図書館と藤崎図書館(←今よく使用している)が集約されるのは、まあしかたがないかと思ひますが、もし2館が一緒に建てなおすのであれば、今の藤崎図書館のように大人の蔵書のフロアと子供のフロアを分けてほしい。図書館は騒いではいけないのはもちろんなのですが、子供は気をつけていても、大きな声を出してしまつたりするので、少しでもお互いが気持ち良く使用出来るためにも、そうしてほしい。	藤崎図書館を大久保図書館へ集約することについては、藤崎図書館の良いところを継承した施設にしていきたいと思います。
63	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	大久保公民館、3歳児幼児教室で2人の子供の時、利用しました。下の子をバギーと一緒に3階へ行くのはつらかったです…。新しくなつてエレベーターが付いたら、とても嬉しいです。	集約化にあたっては、エレベーターの設置を含めバリアフリーに配慮した施設にまいります。
64	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	大久保公民館を利用している者です。とても眺めがよく気持ちが良いのですが、足の悪い方にはエレベーターがないのがとても不便なので、新しい建物はそのことをよろしく願ひいたします。	
65	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	老朽化した施設を利用するのはやはり不安でした。子供が小さい為階段を使ったトイレを使用するにも不便な事が多いです。お年寄りの為のバリアフリー等も無く地区交流会の参加も少なくなつていくのではないかと思ひるので、是非早急に建て替えて欲しいです。新しくなる事によって町の活気につながれば良いと思ひます。	

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
66	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	大久保地区、公共施設の集約・建替に大きな期待をしています。音楽のまち習志野にふさわしい、中ホール(500人～700人収容)の建設、駅1分の立地(東京方面からも佐倉方面からも来やすい)、習志野のセントラルパーク(中央公園)の緑と一体となった、文化の香り高い施設に是非して下さい。市民も協力します。できるだけ早い完成を楽しみにしています。	集約後の施設に必要な機能については、今後市民の皆様と一緒に検討を進めていきたいと考えています。
67	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	以前、都内足立区だったのでしょうか。駅からすぐの場所に区立ホール、区の施設、マンションが一体となった所にあるホールへ演奏を聴きに行く機会がありました。駅から5分程の立地ですが、騒然とした感じがなく、その一画は落ち着いた感じで、設計者のセンス、アイデアの賜物とでもいいでしょうか。そういった複合施設にすれば、財政が逼迫している中で老朽化した施設の建て替えも、可能なのではないのでしょうか？例えば都営アパートが建て替えの場合の方法は、高層マンションやそれまでより規模の大きい建物にして、それまでの住民はほぼ負担なく新しいマンションに住み替えができるという方法をご参考になさってみてはいかがでしょうか。ホールに関しては、音響の良いホールを創って頂きたい。演奏家の意見を取り入れて頂きたいです。エレベーターの設置、ステージの高さ、楽屋の使い勝手、外階段は不用です。(天候によって大儀です。)良いホールになれば、駅から近いのですから市内、外からの利用者も増えると思います。料金設定も現状維持でお願い致します。習志野市の顔となる様な素敵な市民会館を創ってください。(公民館・市民会館、大久保図書館、勤労会館を一カ所に集約。)市民プラザが出来て、あづまこども会館は不用と思いますが…	
68	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	計画には基本的に賛成ですが、新施設について下記の要望があります。ご承知のとおり屋敷公民館を利用するそばサークルは7団体あり、会員数は100名程度という大所帯であります。そば打ち道具(麺台、麺棒、こね鉢、こま板等)を共同で利用しております。現在の大久保公民館調理室の調理台は高く、そば打ちに向いていません。新大久保公民館にはダブルキッチンとし、一つは従来型の調理室、もう一つは多目的型の調理室としてそば打ちにも使えるものとして頂きたい。上記のそば打ち道具等、大量の物品を収納できる場所を作って頂きたい。文化祭等の行事に「そばサークル連合会」として参加できる施設・スペース等を確保して頂きたい。	
69	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	・特定の人達でなく、いつでも、だれでも気安く利用できる施設にしてほしいと思います。利用する時の手続きも、簡単にしてほしい。・ハッピーバスの運営・文化活動、体育活動それぞれが今迄以上の活動が出来る大きさ	藤崎図書館を利用していた方の利便性を確保する面から、移動図書館の巡回や袖ヶ浦団地内にNPO団体が開設しているような民間の図書館を誘致するなど、身近な場所で図書館サービスが受けられるように検討を進めていきたいと考えています。
70	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	藤崎図書館を便利に使わせてもらっています。公共施設の再編の主旨は理解できます。しかし、文教都市習志野も忘れないで下さい。図書館が各町に点在して本を読める、勉強ができることは良いことです。少なくとも予約本の受取位できる分室を藤崎に残して下さい。効率化だけで大久保地区天動説には補完が必要です。	
71	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	図書館を1つに統合するのは構わない。その代わり、津田沼駅などにリクエスト・予約した本だけ受けとれる機能を持った支所を作ってほしい。(蔵書はかかえず、閲覧はできない)	
72	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	今年、生産工学部建築工学科を卒業し、現在設計事務所勤務しています。私は卒業制作で大学とまちの間に習志野市のラーニングセンターの計画を提案しました。今問題となっているように、小さなまちの図書館の財政は厳しく、増えつつける在庫の問題も抱えています。それは大学も同じです。まちも大学も図書の充実を図ることが困難になりつつあります。それであれば、それらを集約することで財政を集中し、在庫も集約させることで効率のよい運営ができるのではないかと思います。それに加えて集約することで隣接する東邦大学と日本大学の学生や住民の交流も活発になるはずだと考えます。かつては軍郷と呼ばれていた習志野市です。現在、済生会病院、東邦大学、日本大学、東邦高校、東邦中学校の場所にはかつて陸軍の騎兵練兵場があり、戦後、文教都市として発展するために大学等の施設に転用され、その結果1本の道路に沿ってまちと大学の間に境界が生じています。習志野市が文教都市として今後も発展していくために、この長く接する面を生かしたラーニングセンターを提案しました。具体的には、道路に沿っておよそ300mの本のプロムナードが直線的に各分野を見渡し、位置も把握できるようになっています。それぞれの目的で訪れた住民や大学生の視線が直線的に繋がっていきます。そして図書、閲覧、ミーティング、研究室、談話室をそれにふさわしい光の空間とし、創造力を刺激されるような空間としました。この建物が浸透膜のような役割を果たし、大学へ、まちへと人々が浸透していくイメージです。というようなことを卒業設計で提案しました。文教都市、学生のまちとして発展してきたまちです。直線と並ぶ、ふたつの大学や高校、中学校、病院がまちと繋がり、学生と住民の交流が生まれることで互いに触発されながら生涯学習できるまちとして発展していくてほしいです。そして魅力的な楽しい空間であってほしいです。	大久保駅周辺にある大学や病院、商店街という資源を最大限に活用しながら御期待に応えられるよう、計画を進めたいと考えています。

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
73	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	・老朽化施設及び土地の売却等による集約施設の建設費の捻出 ・十分な駐輪場を設置。これを月極や年間で貸し出し、既存の駐輪場の統廃合 ・京成線を高架か地下でまたぐ道路の建設(できれば、駅の東西1つずつ) 以上の検討も行って、再開発につなげるべきと考えます。	集約後の土地を売却し、財源を確保する手法は検討しているところです。また、施設の集約が大久保駅周辺の活性化にもつながるように努めてまいります。
74	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	交通面、面積等、立地条件を活かし、多少収入面も期待される”多目的ホール”を加えるべきと思う。(主目的は市民の為)建物は従来のぜいたくな劇場型でなく、舞台付きの平面的なものでよい。外部団体、企業に有料貸しも出来るもの、劇場、映画館、フリーマーケット、企業等の催し、また万一の場合は有料駐車場に転用、災害時の避難所として使用出来るもの。別棟に建てられるなら屋根は、ソーラーパネルを設置。	いただいた御意見につきましては今後施設の機能を決める際の参考とさせていただきます。
75	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	子供達が利用する古い建物もあるので、地震にも強い建物に建て替えて頂きたいと思います。	建替えの際には、地震に強い安全な施設にしていきたいと思います。
76	集約に賛成または反対ではない	集約する施設への要望	児童館を充実してほしい。(音楽教室、工作室、体育室、図書室など)	集約後の施設で児童館機能の充実を図ってまいります。
77	集約に賛成または反対ではない		藤崎図書館をよく利用させていただいています。機能が最優先ですから、移動距離が長くなるのはしかたありません。現在より、良くなる方向で(規模、機能)集約されることを望みます。	施設集約の提案に御理解いただき、ありがとうございます。現状の施設より機能を充実できるように努力してまいります。
78	集約に賛成または反対ではない		施設再編に賛成。施設(特に図書館・会館ホール)は、周辺他市から抽んでた規模・内容とするのか。単に従来の規模と機能を継承するだけなのか？大久保駅南口広場の開発計画との関係、商店街からの人の流れへの配慮は。スポーツ施設(野球場・公園)への配慮。現在の緑豊かな林への配慮は？殺伐な無機質エリアとならないよう。	大久保地区の施設再編については、これまでの施設を単に集約したものではなく、駅周辺の立地条件を取り込みながら相乗効果を生み出せるような計画にしていきたいと考えています。
79	集約に賛成または反対ではない		各施設の老朽化による危険を回避することが何よりも優先すべきだと考えます。費用面から施設を集約することはやむを得ないと思いますので、徒歩で気軽に行かれるメリットは薄れますが、芙蓉園の送迎バスやハッピーバスの運行ルートを若干変更することで対応できるのではないのでしょうか。運営に関しては、実績のある民間へ委託という方法を選択肢に入れても良いと思います。	身近な施設がなくなることになりますが、少し時間をかけても通いとなるような集約施設にしていきたいと思います。
80	集約に賛成または反対ではない		各所の老朽化を見るに、再編し安全を確保すべきと思います。また財政面が心配ですので、保守にかかる費用は利用料で賄うことも必要でしょう。	公民館や市民会館では、施設の維持管理にかかる経費の一部を使用料という形で利用者にご負担していただいています。今後も受益者負担の考え方から、使用料をご負担していただきたいと考えています。
81	集約に賛成または反対ではない		高齢化社会に入り、利用者は今後増加する。分散から集約へ。スクラップandビルド古いものはスクラップして新しく、効率よく運営する。議員定数を減らすのも資金源となる。	
82	集約に賛成または反対ではない		地盤だけが心配。あとはよし。	
83	建設する場所		中央公園はくぼ地にあり、行き帰りが徒歩や自転車ではとても不便です。地震の際の地盤も心配です。大久保公民館、市民会館、図書館の場所に集約してほしいです。	
84	建設する場所		中央公園のような”沼地”に公共施設を建造することに地質の点で不安がある。大久保地区在住者にとっては線路をはさんでの利用は困難がある。	施設の集約化については、既存施設を活用したリノベーションという手法も検討しています。また、施設の耐震化や安全な動線確保に対しても十分な対策をしてまいります。
85	建設する場所		候補地の地盤が心配です。あづまこども会館の裏の空き地とか、警察の跡地とかを利用したら安心ではないでしょうか。	
86	建設する場所		利用する側としては、近いところの方が便利に思います。(遠くは行く方が多い。ファミリ公園は、地盤が液状化するのではないかと。大きい建物を建てるのに適さないのではと思いま	
87	建設する場所		こども会館を裏の駐車場の土地を買収して広くして、3～4階に建て直して利用したらどうか。建て直しが必要ならそうした方がよいのでは！！エレベーターも欲しいです。足が不自由なので！！	中央公園の立地は、京成大久保駅からのアクセスも良く、公共施設を設置する上で利便性の高い立地であると考えています。
88	建設する場所		施設再生は理解できますが、もっと立地の良い場所にしたい方がよいのではないかと？	
89	サークル活動の継続		集約化するとあるが、施設の統廃合はあるのか？統廃合がある場合、再編後の施設はどのような形になるのか？公民館にある地区学習圏会議等の団体はどうなるのか？再編後の施設で、集約後の地区住民全体がこれまでと同様に利用できるための対策は…？	施設の統廃合を視野に入れて検討を進めています。また、地区学習圏会議は、任意団体なので、その在り方については各団体の意向に沿ったものとなります。
90	サークル活動の継続		ゆうゆう館を利用してダンスを月3回行っていますが、統合した場合フロアを今迄通り利用することができるのか、部屋数広さを伺いたい。いくつものフロアがないと、今迄のようにできなくなるのが心配です。御説明いただきたいです。よろしく願い致します。	これまでの利用統計等を分析し、現在のサークル活動を継続していただけるような部屋の広さと数を検討してまいります。
91	サークル活動の継続		現在の活動(勤労会館体育場でのサークル)を再編後も維持できるようにお願いしたい。	

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
92	計画の見直し		大久保地区では、生涯学習施設の統廃合・複合化のモデル事業と、小学校の複合化のモデル事業の2つが第1期計画案で考えられています。 この2つのモデル事業に整合性がとれているかも問題であり、大久保小学校をどうするかも並行して考えなければ、公共施設再生計画の全市的なモデル地区にならないと考えます。 ついては、3点伺います。 1. 習志野市の小学校の敷地面積は狭く、住宅密集地に位置する傾向にあります。そこに複合施設を建設するとすると、床面積を確保しつつ高層化するか、床面積の縮小率を引き上げるか、他の施設(プール、グラウンドなど)を縮小・廃止するか、制約が大きくなります。そうすると、市民の意見・要望、各施設の特徴を反映させるのは、困難になるのではないのでしょうか。敷地面積が狭いと高層化する傾向になるでしょうが、周辺住民の反発が大きいのではないのでしょうか。 2. 複合施設のあり方を考えるにあたって、建築と財政、学校教育と社会教育、福祉関係など、それぞれの職員・専門家によって視点が異なります。市民にしても、集会所機能を重視する市民もいれば、社会教育機能(公民館講座など)を重視する市民もいます。小学校への部外者の出入りに否定的な市民もいれば、子どもと高齢者・社会人の交流を重視する市民もいます。これらの多角的な意見をまとめ、検討するのは、困難なのではないのでしょうか。 3. 敷地面積に余裕があれば、様々な意見を包含できる複合施設を建設しやすいかもしれませんが、しかし、床面積の縮小率を厳しく設定し、トイレや特別教室などを「共有」にする複合施設は、関係者が合意可能な設計に仕上げるのが難しいのではないのでしょうか。 4. 従来の学校敷地内に、学校と別の施設を併設することを全否定するつもりはありませんが、上記のことから、限定されたものにせざるをえないでしょう。特に問題なのは「共有」による複合化であり、境界をきちんと区分できる複合化が望ましいと考えます。児童・生徒と、不特定多数の社会人が出入りする複合施設の「共有」は困難なのではないのでしょうか。	学校の複合化については、将来の人口推計を勘案し、延べ床面積を増やさずに組み込むことができないか検討してまいります。 様々な意見がある中で、学校運営に支障のない範囲での複合化を検討していきます。 特に子どもの安全面については、しっかり確保できるようにいたします。
93	計画の見直し		すでに高齢化社会に突入しかけている今、大久保地区だけに公共施設を集中させるのは、物理的な距離の面から不合理性と不公平感が強いと思います。ただし当然ながら車や自転車移動による利用を主に想定していると思いますし、青少年や近場の居住者にとっては問題はないし、施設の充実化はある程度は必要だと思います。(スポーツジム必須)ですが無駄な費用をかけて立派でモダンなハコモノを作るのではなく、素朴でも堅牢で暖かみのある、習志野市らしさの残る施設であって欲しいのと、何より他とのバランスを考慮することを求めます。 (提案1) 藤崎に住む者としては、藤崎地区にはこれまでも公民館的な物はなく、容量が小さな中途半端なものが点在するだけで、一極集中化はますます不便になるだけだと思っています。そこで、2～3年以降、現在のつくし幼稚園の閉園後の建物を多目的なコミュニティセンターとして、ボランティア活動で学童や図書室、自由に使える多目的ホールなどに、費用はあまりかけずに再生してもらいたいと望んでいます。園庭もそのまま地域の広場として、また非常時の避難場所としても、貴重なスペースになると思います。藤崎6丁目にはそのような多目的広場はこれまでなかったので、ぜひそのまま残して欲しいと強く希望します。(提案2) 大久保地区は公共施設の集約と施設の再生で一部は便利となっても、他地域からの遠さを解消するには、現在のハッピーバスの路線以上にきめ細かいルートの無料のシャトルバスを、定期的に運行していただくことは必然と考えます。(提案3) 多分これから10年も経たないうちに、元気な中高年達があふれることは容易に想像できます。本当はこれからは一極集中ではなく、地域分散型で気軽に高齢者が足を運べる拠点を各地域ごとに設置し、運営は例えば各町会に委託するなど、自立している高齢者が家に閉じこもるか、医者に通うだけという状態を解消できることを想定したモデルを、同時に考えておくべきだと強く思います。(総案) その上で大久保の集約施設の利用予測をシビアに試算し、他地域も含めた全体のバランスを予算的にも勘案し、無駄にならない無駄のない、長期的な市政を進めていただくよう切望します。	施設の維持管理を地域住民が自らの責任で行うという手法は、有効であると認識しています。 集約した後の施設の活用方法についてもいただいた御意見を参考に今後検討してまいります。 なお、つくし幼稚園については、「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画」において、閉園ではなく、私立化する計画となっています。

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
94	計画の見直し		1966年に建設された「大久保市民会館・公民館」は当時の市域中心にあり、1980年建設の図書館も中央図書館機能を有し市の中核施設であった。2002年には都市計画に関する基本方針「習志野市都市マスタープラン」が制定され全市民に配布された。このマスタープランには「優れたまちづくり基本理念」があり、市民もそれを信じてきた。今回の「公共施設再生計画基本方針」「市庁舎等建設計画」「習志野市長期計画基本構想」には、これからの「コミュニティ再編」にも関わるであろう「誰もが住みたい街づくりビジョン」が一切欠如している。その典型が中央公園に計画する全市のモデル事業[大久保地区の施設再編]である。◆ 習志野市都市マスタープラン理念は今回の「長期計画基本構想」に活かされるのか？このマスタープランには、各地の地域拠点と市庁舎を中心とした「生涯学習ふれあいセンター拠点」が設定されている。変更されるとすれば「新たな街づくりビジョン」を全市民に提示すべきである。◆ モデル事業としての「大久保地区の施設再編」にあつては、市民会館を外し、「大久保地区生涯学習拠点として、既存図書館はリファインして併合すべきである。◆ 市民と共に創る「習志野新庁舎等建設計画」には具体性が無い「市民交流センター」が計画されているが、市民会館・中央図書館こそ「コンパクトシティ習志野」の中核施設になる。◆ 「公共施設再生計画」についても、其々の「地域拠点の在り方」を地域住民と充分協議を重ね、「成熟した街・市民参加意識の向上の姿」を図るべきと思う。	大久保地区の施設再編については、公共施設再生計画のモデル事業に当たるものです。その理念については、これまでの都市政策に反するものではなく、施設の機能を維持したうえで施設を集約することにより、建設コスト及び運営コストを削減し、厳しい財政状況においても持続可能な施設整備を行うものです。習志野市新庁舎については現在設計の詳細を検討しているところですが、市民会館および中央図書館の建設は予定していません。地域住民との意見交換については、今後十分に実施してまいりたいと考えています。
95	計画の進め方		《要請》子どもたち(屋敷小、六中生徒ら)の意見も聞いてください。	
96	計画の進め方		施設再編案について、将来の利用者であり現在の利用者でもある子どもたちの意見も聞くようにしてほしい。特に関係する近隣の小学校(大久保小・東小・屋敷小)、中学校(二中・六中)の生徒たちから生徒有志でよいと思います。聞き方は、13日説明会に父母同伴、教育引率などいずれでも可。	まずは、保護者の方を対象に説明会と意見交換会を実施したいと考えております。また、今後、必要に応じて小中学生からも意見を聞いていきたいと考えております。
97	計画の進め方		市民に意見をもとめるなら、大久保地区の施設再編に関する行政側の提案を具体的資料を開示し、せめて3案くらいは提示する必要があると考える。資料情報なしでは考えようがない。至急関連資料の公開をするべきである。市民はその資料と提案内容を比較検討してより建設的とおもわれる意見を述べるのでなければ、単に行政側の一方的な説明を聞かされるだけの説明会に終わるだろう。それでは市民の合意形成はかかれない。関連施設に住む住民にはチラシで少し情報を開示しているようであるが、一般市民に広く配布しなければならない。ステークホルダーを近隣住民に限るかのようなあり方は理解ができない。進め方に問題がある。当日資料をみて出せるような思い付きの意見を市民の意見として解釈してはならない。公共施設再生は習志野市の最重要課題であるのだから、資料と行政暫定提案を複数示したあと、市民に十分考える時間、少なくとも最低2週間、を与えなくてはならないと考える。事前の資料なしでは意見は出せません。	事前に資料をホームページに公開するよう努めてまいります。
98	計画の進め方		地元の意見を取り入れて、より良い行政を行ってください。	これからも地元の意見を伺いながら検討を進めてまいります。
99	計画の進め方		全市的な市民会館・勤労会館とエリア的な公民館・集会所を分けて説明して欲しい。全市の公共施設については市民的合意には達していません。従って全市の公共施設については全市の中で合意をはかるためにエリア地区的と離して説明会を持つことが大切だと思います。市として市民的合意の努力はしてきたようですが充分と考えているのか？充分な合意が得られない訳は何か？どのように合意形成を作っていくのか示して欲しい。公共施設再生の主幹部署は資産管理課で充分か。市全体の体制を作るためには何が必要なのか？ 具体的な質問について ①あずま子供会館の将来性についての説明をして下さい。 ②藤崎図書館を大久保小に統合する必要性の説明が薄弱です。藤崎青年館の売却益はどの位計算しているのか？ ③ゆうゆう館・屋敷公民館の売却益の見積もりを説明して欲しい。 ④大久保地区の公民館・図書館・勤労会館・公民館の解体費と建設費の見積もりを説明して欲しいし 見積もりはやっているのか？ ⑤市民に複数のケースの選択案を示して欲しい。	集約することによって廃止となる施設の跡地については、必ず売却するものとは決定しておりません。財源の確保策については、今後検討してまいります。あづまこども会館および藤崎図書館については、その機能を再編後の施設に集約し、サービスの拡大を図る予定です。

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
100	計画の進め方		1. 「公共施設再生計画」は、「社会的合意形成」が必要な計画です 「公共施設再生計画」は、老朽化した施設を限られた財源で、少子高齢化を中心とする社会経済情勢の変化及び本市の人口動態等を考慮して、更に、将来のまちづくりを考えて、どの様に再生するか、市民と行政と一緒に知恵を出し合って策定しなければならない計画です。そして、この計画が市民サービスやコミュニティのあり方に大きな影響を与えるものであるため、「社会的合意形成」が必要な計画なのです。その「社会的合意形成」の過程を十分に経ないで策定することは、行政の傲慢であり、市民の自治を無視するものです。 この様な「社会的合意形成」が必要な計画を策定するために、行政が市民に対して果たすべきことは、 (1) 将来のまちづくりを考慮した複数案の検討と事業費及び財源の算出根拠の徹底した情報公開 (2) 市民との「合意形成」の多様な場の設定と市民への丁寧な対応による「社会的合意形成」の実施 が重要だと考えます。これは、今回の「大久保地区施設再編」においても同じです。 しかし、これまでの行政の検討内容と市民への情報公開は不十分であり、「社会的合意形成」のための場の設定と対応は行われてこなかったに等しいものです。行政は、「社会的合意形成」の必要性和重要性を認識し、短時間の意見交換会では「社会的合意形成」の達成はできないこと知るべきです。 そこで、行政は、複数の計画案について事業費を含めて検討し、その計画案の選択根拠を明確したうえで、 計画案の事業費及び財源の算出根拠の徹底した情報公開を行うべきです。そして、これまでのような市民との意見交換会を始めとして、市民の意見を集約する多様な場の設定を行い、「社会的合意形成」のための時間を十分に確保して、計画の策定を進めるべきです。 この点から考えても、今回の「大久保地区施設再編」について、「8つの施設を集約する」一つの案だけの提示は、「社会的合意形成」を図るには不十分な計画なのです。 2. 「公共施設再生計画」は、他の基礎自治体の模範となり、参考になる計画づくりの使命を負っている 本市の「公共施設再生計画」は全国の基礎自治体に先駆けて進められており、全国的に注目されている計画であることを、もっと認識し、誇りを持って検討を進めるべきです。行政のこれまでの計画策定の進め方や検討内容から、その使命の認識が感じられません。 行政は、この計画の使命をどの様に捉え、考えているのか、市民に説明する責務があります。 将来世代を含めた市民のための計画を策定することによって、他市の参考になり、市民が誇りに思い、習志野市の名前を全国に高めることができ、その使命を果たすことが出来るのです。 また、計画の内容のみならず、その策定過程における市民との合意形成（「社会的合意形成」）をどのように進めたのか、他市のもっとも参考になるポイントであることを、行政は十分認識すべきです。 「平成25年度特定地域再生事業費補助金事業」に選ばれたことは、国が本市の「公共施設再生計画」の重要性を評価した結果であることを自覚し、先駆的な取り組みを行うことを、市民として期待したい。 3. 「大久保地区施設再編」の計画案が、「8施設を中央公園に集約」案だけが提示されていることの問題点 (1) 全市利用施設の建設位置は、市内全地域の市民の合意が必要です 全市利用施設の建設位置は全市的な立場で、将来のまちづくりを考慮して、建設場所を決定すべきである。特に、「市民会館」が建設された当時（1966）、第1次埋立が完了して袖ヶ浦が市域に編入されたばかりであり、第2次埋立（秋津・香澄）はその10年後である。即ち、「市民会館」が建設された当時と現在では、人口数、市域面積、市域形状は非常に大きく変化しているのです。その様な大きな変化を踏まえて、将来のまちづくりを考慮して、「市民会館」の建設位置の検討をするべきです。 具体的には、市庁舎に併設して、市民交流の場の拡大を図る案を一つの案として検討し、大久保地区集約案との比較を行い、行政の考えを提示した上で、市民にその是非を問うべきです。 また、全市利用施設と位置付けられている「勤労会館」についても、その必要性を評価すると	市民の皆様のご理解を得ながら事業を推進するよう、又他自治体の方にも参考にもらえるように説明会やワークショップなどを開催してまいります。 京成大久保駅周辺は、生涯学習関係の施設が多く設置されており、習志野市の中でも特徴的なエリアと言えます。 そこで、市民会館や公民館、図書館など、様々な生涯学習活動を1ヶ所で行うことにより、相乗効果を得られるような施設にすることが望ましいと考えています。

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
100	計画の進め方		(2) 小学校を地域の拠点(コミュニティ拠点)施設とする思想に基づいた検討が必要です。5月の説明会資料の【ケース1】では、小学校をコミュニティ拠点にすることを提案しています。そして、第3期では、「(新)袖ヶ浦小」は公民館との複合化、「東習志野小」はコミュニティセンターと図書館の複合化を予定しています。このような考え方を前提とするのであれば、大久保地区施設再編の対象となっている地域利用施設は、小学校との複合化の検討が行われるべきです。 以下に、複合化の例を提示します。 ・大久保公民館・大久保図書館→大久保小学校(第1期)又は大久保東小学校(第2期)に複合化 ・屋敷公民館→屋敷小学校(第3期)又は第六中学校に複合化 ・藤崎図書館→藤崎小学校(第3期)又は大久保小学校(第1期)に複合化 ・あづま子ども会館→大久保東小学校(第2期)に複合化 この例を参考にして、地域利用施設の小学校との複合化案を検討し、今回提示されている集約案との比較を行い、行政の考えを提示した上で、市民にその是非を問うべきです。 (3)「あずま子ども会館」は、その機能の必要性和全市域の公平性を考慮した検討が必要です。「あずま子ども会館」は地域利用施設と位置付けられているが、この様な機能を有する施設は大久保地区以外にはない。 そこで、「大久保地区施設再編」に際しては、その機能の必要性和全市域の公平性を考慮して、行政の考えを明確にし、市民に是非を問うべきです。 4. 事業費と財源確保の手段及び将来の財政予測についての検討とその算出根拠の情報公開が必要です。 この件に関しては、検討資料の公開がないので、具体的な指摘ができないが、5月の説明会資料の内容では不十分であることを、行政は認識すべきです。 特に、事業費不足のための財源確保の手段及び将来の財政予測は、市民が計画内容の評価を行うための重要な指標の一つであることを、行政は認識すべきです。 また、財源確保の手段を検討する場合、「世代間の負担の公平性」を担保するものでなければなりません。 行政は、事業費と財源確保についての検討内容や算出根拠など、更に、将来の財政予測の徹底した情報公開を行うべきです。 5. 意見交換会の市民の意見に対する行政の回答を公開することが重要です。 これまでの意見交換会の市民の意見を箇条書きにまとめたものは公開されているが、行政の考え(回答)が全く提示されていない。これでは、市民の意見がどの様に活かされるのか分からない。 意見交換会の趣旨を十分に考慮し、「社会的合意形成」のための場としての機能を発揮させるためにも、行政は、市民の意見に対する回答を公開すべきです。	公民館等の地域利用施設を小学校に複合化することについては、学校教育に支障が無いようにセキュリティ面を考慮した形で検討を進めてまいります。 大久保地区の施設は、集約化して機能を向上することにより全市利用施設にする必要があると考えています。 あづま子ども会館の持っている子どもの居場所としての機能は、地域に偏りが出ないよう、各公民館等で実施してまいります。 また、事業費や財政予測についても今後公開してまいります。
101	計画の進め方		・説明会なのに講師を呼ぶのはおかしいのではないか、税金の無駄遣い。市の職員が大学教授に聞いたことを伝えるだけでよい。 ・講師にボランティアで来てもらうことができないか交渉してほしい。無理であれば来てもらわなくてもいい。 ・意見の記入欄が小さい。最初から意見を聞くつもりはないのではないか、説明会も単なる説明をしまった。というアリバイ作りにしか過ぎないのではないかと勘繰りたくなる。 ・藤崎図書館が老朽化に伴って廃止になるのであれば、消防署もなくなるのか。 ・自分は高齢者なので、藤崎図書館を集約されると遠くなって行くことができなくなる。 ・署名運動をすれば集約案を撤回できるのか。署名は市民の20%集めなくてはいけないなど目安があるのか。 ・図書館は、指定管理者制度となり経費節減できているはず。その経費で建て替えもできないというのは公務員の職務怠慢である。 ・図書館の指定管理者制度導入の際、個人情報の漏えいのが心配であることを伝えたが、回答をもらえなかった。今回の意見についても回答をもらえるのか不安である。 ・将来世帯の負担を軽くするための集約を行うということは、今まで収めてきた市民税が活かされてないと感じる。	図書館への指定管理者制度導入など、これまで様々な行政改革に取り組んでまいりましたが今後も引き続き努力してまいります。 今回は、限りある財源の中で、より良い施設更新を行うために施設の集約化を提案しているものです。財源と利便性の両方を考慮しながら皆様に御理解をいただけるよう努力してまいります。
102	その他		平成24年3月に東京都から引越してきて、初めて公民館へ入ったとき、空調が悪く、なんとなく古くさいにおいと暗い雰囲気にはビックリしました。	習志野市内の公共施設は、建築から30年以上経過している建物が多く、公民館についても例外ではありません。 これらの施設を厳しい財政状況でも維持できるような計画を現在検討しているところです。 こうしたことから、公共施設再生計画を策定し、施設整備を計画的に取り組もうとするものです。

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
103	その他		老朽化は別に恥ずべき事でないと思います。便利さとせいかを求めすぎるのは人間としての我がままです。例えば、今使用している本棚などもっと古いものにすればより一層、本の価値は高まるのでは。逆発想こそすばらしい事があるでしょう。	施設の集約にあたっては、既存施設を再利用するリノベーションの手法も検討しています。
104	その他		大久保駅前はいつてもごみごみとしていて、行くのが大変なので反対です。誰がこんなバカな話始めたのですか？そいつをクビにして。そんな人間にムダに税金使われたくない。若い市長も当てにならないね。荒木もダメだったけど。	限りある財源の中で老朽化した施設をこれまでの機能を維持した形でいかに更新するかを検討しています。これまでより施設が減るため、距離が遠くなる方にも、少し時間をかけてでも通いたくなる施設にしていきたいと思っています。
105	その他		もし施設再編案が決定するようでしたら、習志野市には住みたくありません。絶対に反対です。子どもたちのことお考えですか？	将来世代も永続的に安全な施設を利用していただけるように公共施設再生計画を検討してまいります。
106	その他		藤崎地区の住民から地元図書館がなくなるのは不便という声が上がった場合は、藤崎に図書館を立て直すのか？その場合、予算はあるのか？民間企業では予算は限られていることを職員はよく理解しているが、役所の人間は予算は税金からいくらでも調達できると勘違いしているのではないのか？あなた方のそうした世間知らずがとても心配である。	市の財源に限りがある中で、どのように施設を維持していけるかを検討しており、そのために施設を集約化を提案していますので、藤崎地区に図書館を新設する予定はありません。
107	その他		現在の大久保図書館は地区図書館と大きく相違がないのに、習志野市の中央図書館の役割を担わされている。再編後の大久保図書館に中央図書館の機能を持たせるならば、真に見合った規模と機能を備えるべきである。現在同様の地区図書館の域を出ないものとなるならば、中央図書館を新たに設置するべきである。	大久保図書館を本市の中心館にふさわしい図書館とするためには蔵書数の拡大が必要であると考えています。また、これまで不足していた閲覧スペースを確保することも必要であると考えています。そのほかどのような機能を図書館に備えるかということについては、今後市民の皆様と一緒に検討してまいります。
108	その他		今回の説明会で対象となる「大久保地区」では、先日の公共施設再生計画素案の説明会資料によると、大久保小学校が学校複合化の第一号（モデル校）とされています。図書館との複合施設とされています。今回の説明会では、藤崎図書館が中央公園に集約される案となっています。大久保小学校の西側数百メートルの藤崎図書館を統廃合する一方で、大久保小学校と図書館の複合施設を計画するのか理由がわかりません。合理的な説明をお願いします。	現在大久保小学校で検討しているのは、小学校と複合・共有化するとしたらどのような施設が適当であるかということを考えているものです。したがって、建て替え時に図書館との複合化が決定しているものではありません。
109	その他		財源確保と、習志野市の建設事業費のあり方についての質問です。大久保地区をはじめ、全市の公共施設を統廃合して建てかえる理由の一つが「限られた財源」です。では年間15億円とされ、この財源だけでは40%しか建てかえられないとされています。しかし、この数年間、習志野市の建設事業費の多くがJR津田沼駅南口特定土地区画整理事業と周辺開発に充てられてきました。市長後援会長とフジタなどが関わる利権がらみの開発事業への投資をやめ、今後はこのような大型開発への財政投入をやらない確固たる方針を決めれば、公共施設再生のためにより多くの財源を確保できるはずです。そして、より余裕のある計画に修正できると考えます。ついては、①習志野市の建設事業費がこれまでどのように使われてきたのか（15億円だけではないはず）、②JR津田沼駅南口関連で投入された建設事業費の総額はいくらか、③今後は建設事業費をどのように配分していく方針なのか、④今後も大型開発（他の調整区域など）への財政投入を考えているのか、市の考えを説明してください。	これまでの投資的経費については、「習志野市公共施設再生計画策定に対する提言書」に示されている通り、平成17年度から平成21年度の5か年平均で、道路や橋などインフラを含む総額では約46億円、そのうち公共施設の改修等に使われている額の平均が約15億円となります。この事業費については、本市民教住宅都市憲章をはじめ、習志野市基本構想等各計画に基づき、地域住民の生活環境の向上を図るために実施してきたものです。今後もこれまで同様、限りある財源の中で、事業の取捨選択を行いながらより住みやすいまちづくりを目指してまいります。
110	その他		合理的な面から一考を要するのが市会議員を削減するのが急務だと思える。浦安市の人口と市の人口は大差無く、前者の議員定数は16名であり、財源の収入が横這いならこれも大変な問題である。隣接の公民館と合併するのは合理的であり、管理維持と両面からも適切であると思う。唯、公民館は市民のコミュニケーションの場であり、同時進行で考慮されたし	行政運営に必要な財源を確保する観点から、施設の集約化に限らず、様々な改革に取り組んでまいります。
111	その他		現在ゲートボールを中央公園でやっていますが、やる人が少なくなり、ゲートボールだけに大きな場所をとるのはもったいない。いくつかの種類を同じ場所で曜日、時間を決めてやるように。但し、他の種類に必要な器具、器材の場所を決めているのでそれを引きぬいたりするものがある。これはやめて欲しい。	今あるゲートボール場をどのようにしていくかということも含め、施設の機能については、今後地域の方々と話し合う中で検討を進めてまいります。
112	その他		限られた税収である今は人口密度にもよるが、収入減は今後も未解決のまま推移していくと思われる。人口比率からして市会議員が外の市町村より多くカットするものから進めていって支出を防ぐのも一考と思う。公民館・市民会館は市民にとって唯一交流の場所であり、今一度原点に戻って再考されるのが必要である。但し、総合するのは必要であると同時に充実した内容の運営に期待する。	大久保地区の集約だけではなく、幅広く行政改革に取り組む必要があると考えています。
113	その他		あづまこども会館は売却してしまうのでしょうか？	財源確保策の一つとして跡地の売却も検討しています。

項番	大項目	中項目	内 容	回 答
114	その他		①中央公園は地盤が悪いので、基礎工事が大変(コスト増大) ②残った古い施設の跡地等はどうするのか? ③今の施設で行っている活動によっては、他の公共施設へ移すことも可能では? (あづまこども会館→市民プラザ) 東部福祉センターへ等 ④今、行っている活動を総合的に検討する必要があるのでは? 図書館等はそのままとして ⑤屋敷公民館等は耐震工事をしたのでは?	
115	その他		1月の「再生計画素案」の中で、計画の前提とされた藤崎青年館の耐用年数が大きく誤っていますので、至急お知らせします。 藤崎青年館は耐震診断費を含め約¥1000万円の事業費を使つての耐震改修工事がすでに完了しています。それによって、「公共施設再生計画策定に向けて～今後の公共施設建替え需要見込み(50年Ver)～」の表に示されている通り、建て替え需要の来るのは2032年(平成44年)となりました。財政難の中大きな血税を注いだことによって、築年+38年であった2019年(平成31年)から飛躍的に延びています。 青年館耐用年数2019年は完全なる誤りですから速やかに訂正し、〈前期基本計画[第1期]〉の耐用年数を迎えている施設、機能統合する施設から外すことを明確に実行して下さい。* 藤崎青年館は、藤崎図書館機能統廃合後、跡地を利用。も無効としてください。それができない場合には十分な理由を市民に示してください。 また藤崎図書館ですが、青年館が2032年まで使い続けられるのですから、図書館跡を使う必要性ははじめからなかったことになります。ですので、藤崎図書館の廃館案撤廃も強く要望します。藤崎図書館は藤崎地区の「知」の命です。住民の存続希望はすでに多く挙げられていると思われますが、それを無視してまでどうしても廃館・統合する案を進めるということでしたら、住民の納得いく合理的な理由を示してください。図書館運営費に関しては民営化済みですので、理由にはなりません。市は、図書館民営化の説明会で「図書館のサービスの質は落とさない」と市民と明確に約束しています。どうぞ大久保図書館は中央館なのですから独自に充実させて下さい。 藤崎地区の住民への告知が不十分なうちに、統廃合の名の下に藤崎青年館・藤崎図書館が実質廃館となる計画がたてられて、「大久保地区公共施設再生」の中に組み込まれ進められていることに驚愕しています。1月にもらった資料では9月に「公共施設再生計画」策定となっていましたので、そこでの訂正・計画変更に関に合うようお知らせしました。よろしく願います。 7月の説明会で清水義次先生のおっしゃった「エリアに価値あり」の言葉が心に残っています。もしもこのままの計画が推進されれば大久保のエリア価値は上がるでしょう。そのために青年館・徒歩圏図書館がなくなったら藤崎は……一方的にエリア価値が下がります。 しかもその計画の大前提が誤った耐用年数からの策案であるとは!! 藤崎住民はだれもこれを容認できないでしょう。今までは文化度の低さから「藤崎村」と揶揄され、「声を上げない藤崎住民」と侮られて来たそうですが、私たちの世代の新住民はもうただのおとなしいバカものではありません。これから地域住民および青年館・図書館利用者たち多くの目で、これからの市の動きをしっかりと注視して行きます。 どうぞ心ある計画策定をお願い致します。ありがとうございます。	現在ある施設を活用し、基礎工事に係る経費を削減する方法も検討しています。 これまでのサークル活動を継続できるような集約化を提案したいと考えています。 なお、耐震工事は建物を長寿命化させるものではないので、老朽化は進行しています。

この意見は、平成25年7月13日に開催した第1回目の説明会に事前意見として募集したもの、当日のアンケートで頂いたもの、更にメールや電話で頂いた意見をまとめたものです。そのままの形で掲載していますので、手書きで頂いた意見のうち、一部文字が判別できない箇所は、「○○○」と表現させていただいています。ご了承ください。

【項目別件数集計】		
大項目	中項目	件数
集約反対(小計61件)	藤崎図書館	27
	藤崎図書館・あづまこども会館	1
	距離が遠くなる	21
	あづまこども会館	11
	ゆうゆう館	1
集約に賛成または反対ではない(小計21件)	集約する施設への要望	15
		6
建設する場所		6
サークル活動の継続		3
計画の見直し		3
計画の進め方		7
その他		14
合計		115